

東富士演習場における米軍機による空中投下訓練中の パラシュート落下について（口頭要請）

平成31年1月31日、東富士演習場において、横田基地所属のC-130輸送機による物資投下訓練中に、パラシュートが演習場の施設区域内に落下した。

東富士演習場においては、昨年12月にも、横田基地所属の同型機による物資投下訓練中に、投下位置のコンピュータへの誤入力により、貨物が機体内にロックされ、展開したパラシュートを切り離さざるを得ない事故が発生している。

その際、横田基地では、関係するすべての部隊員に対して注意喚起を行ったにもかかわらず、今回、同様の事故が再び発生したことは遺憾である。

このため、次のとおり要請する。

- 1 今回のパラシュート落下について速やかに原因究明を行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の物資投下訓練は行わないこと。
- 2 訓練を再開する場合は、安全確保の更なる徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

平成31年2月1日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
オーティス C. ジョーンズ大佐 殿

北関東防衛局長 吉田 廣太郎 殿

横田防衛事務所長 五十嵐 昭紀 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長 東京都知事 小池 百合子

副会長 福生市長 加藤 育男

立川市長 清水 庄平

昭島市長 白井 伸介

武蔵村山市長 藤野 勝

羽村市長 並木 心

瑞穂町長 杉浦 裕之